

# 野村SNS関連株投資 Aコース／Bコース

## 償還運用報告書(全体版)

第10期（償還日2021年8月13日）

作成対象期間（2020年8月14日～2021年8月13日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。  
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2011年10月28日から2021年8月13日までです。	
運用方針	野村SNS関連株投資 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界各国（新興国を含みます。）のSNS関連企業*の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 ※ファンドにおいて、「SNS関連企業」とは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を提供する企業およびSNSの拡大に寄与する、あるいはその恩恵を受けると考えられる企業のことを指します。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村SNS関連株投資 Aコース／Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界各国のSNS関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村SNS関連株投資 Aコース／Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Aコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			株組入比率	株先物比率	純資産額
		税金	分配	み騰騰落			
	円 銭		円		%	%	百万円
6期(2017年8月14日)	14,414		700		19.1	93.6	1,338
7期(2018年8月13日)	16,958		870		23.7	98.3	1,421
8期(2019年8月13日)	14,856		790		△ 7.7	93.9	1,129
9期(2020年8月13日)	19,958		1,040		41.3	96.1	1,314
(償還時)	(償還価額)						
10期(2021年8月13日)	28,756.93		—		44.1	—	1,642

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるSNS関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額			株組入比率	株先物比率	株式比率
		騰	落	率			
(期首)	円 銭			%	%	%	%
2020年8月13日	19,958			—	96.1	—	—
8月末	21,454			7.5	92.6	—	—
9月末	20,775			4.1	93.6	—	—
10月末	22,220			11.3	93.2	—	—
11月末	25,000			25.3	95.3	—	—
12月末	26,061			30.6	95.4	—	—
2021年1月末	27,340			37.0	97.0	—	—
2月末	28,894			44.8	99.6	—	—
3月末	26,273			31.6	98.9	—	—
4月末	28,890			44.8	97.1	—	—
5月末	27,167			36.1	98.1	—	—
6月末	29,750			49.1	100.2	—	—
7月末	28,782			44.2	—	—	—
(償還時)	(償還価額)						
2021年8月13日	28,756.93			44.1	—	—	—

\*騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## &lt;Bコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率	株組入比率	株先物比率	純資産額
		込	配				
	円 銭	円	金	%	%	%	百万円
6期(2017年8月14日)	19,003	1,000		30.4	96.6	—	1,454
7期(2018年8月13日)	23,077	1,100		27.2	98.4	—	1,542
8期(2019年8月13日)	19,678	1,060		△10.1	96.2	—	1,195
9期(2020年8月13日)	26,933	1,420		44.1	96.3	—	1,274
(償還時)	(償還価額)						
10期(2021年8月13日)	40,431.54	—		50.1	—	—	1,503

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるSNS関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰	落		
(期首)	円 銭	%	%	%	%
2020年8月13日	26,933	—	—	96.3	—
8月末	28,631	6.3	—	93.8	—
9月末	27,832	3.3	—	94.2	—
10月末	29,464	9.4	—	94.1	—
11月末	33,019	22.6	—	96.5	—
12月末	34,363	27.6	—	96.3	—
2021年1月末	36,399	35.1	—	96.4	—
2月末	39,105	45.2	—	97.4	—
3月末	37,082	37.7	—	95.7	—
4月末	40,133	49.0	—	96.9	—
5月末	38,062	41.3	—	97.3	—
6月末	41,910	55.6	—	98.9	—
7月末	40,466	50.2	—	—	—
(償還時)	(償還価額)				
2021年8月13日	40,431.54	50.1	—	—	—

\*騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## &lt;Aコース&gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期 首： 19,958円

期末(償還日)：28,756円93銭(既払分配金(税込み)：-円)

騰 落 率： 44.1%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年8月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,958円から期末(償還時)28,756.93円になりました。主な変動要因は以下の通りです。

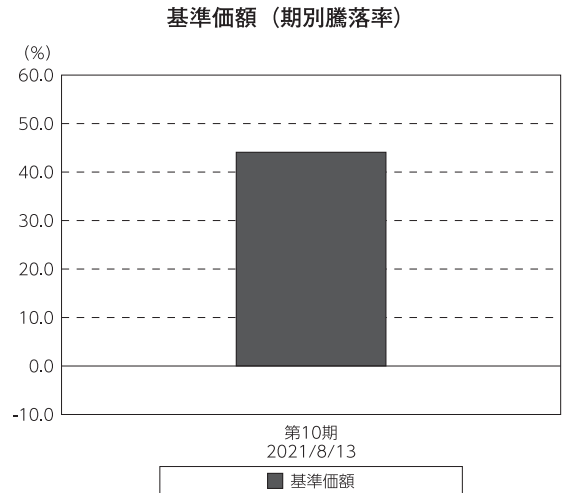
- ・ 企業業績の回復や新型コロナウイルスワクチンの開発、接種の進展により経済正常化への期待が高まったことや、バイデン米大統領による新型コロナウイルス追加経済対策法案が成立したことなどを背景に株式市場が上昇する中、保有株式が上昇したこと。

## <Aコース>

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるSNS関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



### ◎分配金

償還のため分配は行いませんでした。

## &lt;Bコース&gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期 首： 26,933円

期末(償還日)：40,431円54銭(既払分配金(税込み)：－円)

騰 落 率： 50.1%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年8月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首26,933円から期末(償還時)40,431.54円になりました。主な変動要因は以下の通りです。

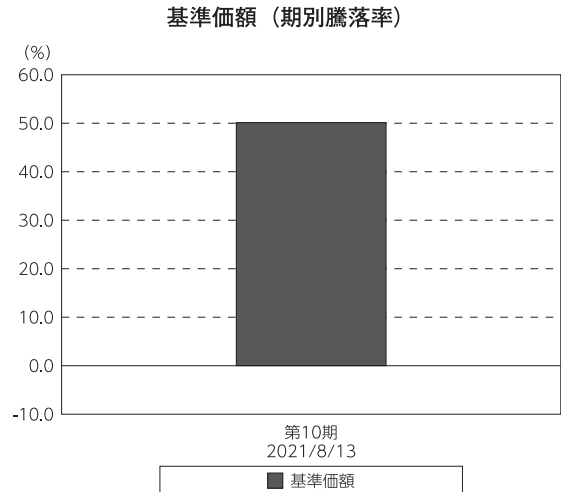
- ・ 企業業績の回復や新型コロナウイルスワクチンの開発、接種の進展により経済正常化への期待が高まったことや、バイデン米大統領による新型コロナウイルス追加経済対策法案が成立したことなどを背景に株式市場が上昇する中、保有株式が上昇したこと。
- ・ 経済の正常化への期待を背景に米国金利が上昇し、ドル高・円安となったこと。

## &lt;Bコース&gt;

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるSNS関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎分配金

償還のため分配は行いませんでした。

## <Aコース／Bコース>

### ○投資環境

期中の世界株式市場は、新型コロナウイルスの感染再拡大などが懸念され下落する局面もありましたが、企業業績の回復や新型コロナウイルスワクチンの開発、接種の進展により経済正常化への期待が高まったこと、バイデン米大統領による新型コロナウイルス追加経済対策法案が成立したことなどから、当期間では値上がりとなりました。

### ○当ファンドのポートフォリオ

〔野村SNS関連株投資 Aコース〕および〔野村SNS関連株投資 Bコース〕は、主要投資対象である〔野村SNS関連株投資 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

### 〔野村SNS関連株投資 マザーファンド〕

#### <株式組入比率>

7月上旬までは概ね高位を維持しました。7月中旬以降は、償還対応で保有株式の売却を進め、キャッシュでの運用を行いました。

#### <期中の主な動き>

- ・世界各国（新興国を含みます。）のSNS関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、また株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。SNS関連企業とはソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）を提供する企業およびSNSの拡大に寄与する、あるいはその恩恵を受けると考えられる企業を指します。
- ・7月上旬まではバリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄を入れ替えました。7月中旬以降は、償還対応で保有株式の売却を進め、キャッシュでの運用を行いました。

### 〔野村SNS関連株投資 Aコース〕

#### <株式組入比率>

実質株式組入比率は、7月上旬までは概ね高位を維持しました。7月中旬以降は、償還対応で保有株式の売却を進めました。

#### <為替ヘッジ>

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

### 〔野村SNS関連株投資 Bコース〕

#### <株式組入比率>

実質株式組入比率は、7月上旬までは概ね高位を維持しました。7月中旬以降は、償還対応で保有株式の売却を進めました。

#### <為替ヘッジ>

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。



## &lt;Aコース&gt;

## ◎設定来の運用経過

## &lt;設定来の基準価額の推移&gt;



## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から償還時28,756.93円となりました。設定来お支払いした分配金は1万口当たり5,270円となりました。

## 第1期 (2011年10月28日～2012年8月13日)

- ・欧州債務危機懸念の再燃や中国経済がハードランディングするとの懸念などで相場が押し下げられる中、注目されていたフェイスブックのIPO（新規株式公開）が市場参加者の期待を大きく下回る結果となったことなどから下落。

## 第2期～第3期 (2012年8月14日～2014年8月13日)

- ・当ファンドの最大保有であった銘柄が良好な企業決算を発表したことなどから上昇。

## 第4期 (2014年8月14日～2015年8月13日)

- ・ギリシャ情勢の先行き不透明感や失望感を誘う企業業績の発表などから下落。

## 第5期 (2015年8月14日～2016年8月15日)

- ・主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待などから上昇。

## 第6期～第7期 (2016年8月16日～2018年8月13日)

- ・米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、トランプ大統領による石油パイプライン建設に関する大統領令への署名などを受け経済政策への期待が高まったことなどから上昇。

<Aコース>

**第8期（2018年8月14日～2019年8月13日）**

- ・米中貿易摩擦への警戒感などを背景に世界経済の先行きを不安視する見方が広がったことなどから下落。

**第9期－第10期（2019年8月14日～2021年8月13日）**

- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けた原油価格の急落などから大幅に下落した局面もありましたが、各国が財政・金融政策を打ち出したこと、米大手製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの臨床試験で高い有効性を発表し、その後接種が進展するなど、経済正常化への期待が高まったことなどから上昇。

## &lt;Bコース&gt;

## ◎設定来の運用経過

## &lt;設定来の基準価額の推移&gt;



## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から償還時40,431.54円となりました。設定来お支払いした分配金は1万口当たり7,560円となりました。

## 第1期 (2011年10月28日～2012年8月13日)

- ・欧州債務危機懸念の再燃や中国経済がハードランディングするとの懸念などで相場が押し下げられる中、注目されていたフェイスブックのIPO（新規株式公開）が市場参加者の期待を大きく下回る結果となったことなどから下落。

## 第2期～第3期 (2012年8月14日～2014年8月13日)

- ・当ファンドの最大保有であった銘柄が良好な企業決算を発表したこと、自民党安倍総裁の積極的な金融緩和を促す発言や、日本銀行の市場予想を上回る規模の緩和策などから、対主要通貨で全面的に円安がすすんだことなどから上昇。

## 第4期 (2014年8月14日～2015年8月13日)

- ・ギリシャ情勢の先行き不透明感や失望感を誘う企業業績の発表などから下落する局面もありましたが、米国の利上げ観測が高まる中、米国と日欧との金融政策の方向性の違いが際立つこととなり、ドルが主要通貨に対して買われたことなどから上昇。

## &lt;Bコース&gt;

**第5期（2015年8月14日～2016年8月15日）**

- ・主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待などから上昇する局面もありましたが、英国のEU（欧州連合）離脱問題に対する不透明感が高まる中、リスク回避姿勢が強まり、大幅にドル安・円高となったことなどから下落。

**第6期－第7期（2016年8月16日～2018年8月13日）**

- ・米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、トランプ大統領による石油パイプライン建設に関する大統領令への署名などを受け経済政策への期待が高まったことなどから上昇。

**第8期（2018年8月14日～2019年8月13日）**

- ・米中貿易摩擦への警戒感などを背景に世界経済の先行きを不安視する見方が広がったことなどから下落。

**第9期－第10期（2019年8月14日～2021年8月13日）**

- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けた原油価格の急落などから大幅に下落した局面もありましたが、各国が財政・金融政策を打ち出したこと、米大手製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの臨床試験で高い有効性を発表し、その後接種が進展するなど、経済正常化への期待が高まったことなどから上昇。

## &lt;Aコース&gt;

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2020年8月14日～2021年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 507 (287) (201) ( 20)	% 1.947 (1.100) (0.770) (0.077)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等  購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等  ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	9 ( 9 ) ( 0 )	0.034 (0.033) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	3 ( 3 ) ( 0 )	0.012 (0.012) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	7 ( 6 ) ( 1 ) ( 0 )	0.027 (0.023) (0.003) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	526	2.020	
期中の平均基準価額は、26,050円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

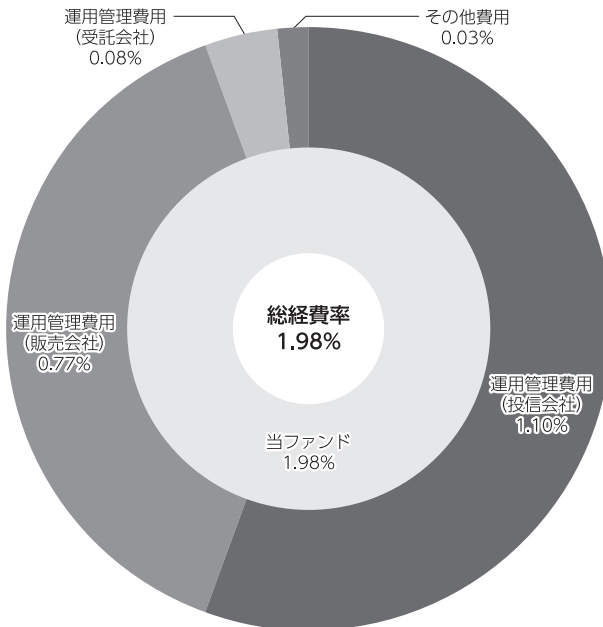
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Aコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Aコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2020年8月14日～2021年8月13日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村SNS関連株投資 マザーファンド	千口 20,783	千円 109,010	千口 301,346	千円 2,081,399

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2020年8月14日～2021年8月13日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村SNS関連株投資 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,507,696千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,034,132千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.48

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年8月14日～2021年8月13日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;野村SNS関連株投資 Aコース&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 8,904	百万円 30	% 0.3	百万円 7,565	百万円 33	% 0.4

## &lt;野村SNS関連株投資 マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 60	百万円 53	% 88.3	百万円 3,909	百万円 5	% 0.1

平均保有割合 51.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## &lt;Aコース&gt;

## ○組入資産の明細

(2021年8月13日現在)

2021年8月13日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
野村SNS関連株投資 マザーファンド			千口 280,562

\*単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月13日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
コール・ローン等、その他		1,660,334	100.0
投資信託財産総額		1,660,334	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。



## &lt;Aコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年8月13日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	1,660,334,191
コール・ローン等	1,660,334,191
(B) 負債	17,851,092
未払解約金	1,433,810
未払信託報酬	16,386,968
未払利息	2,601
その他未払費用	27,713
(C) 純資産総額(A-B)	1,642,483,099
元本	571,160,839
償還差益金	1,071,322,260
(D) 受益権総口数	571,160,839口
1万口当たり償還価額(C/D)	28,756円93銭

(注) 期首元本額は658,454,031円、期中追加設定元本額は26,848,353円、期中一部解約元本額は114,141,545円、1口当たり純資産額は2,875,693円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額18,783,767円。(\*20年8月14日～'21年8月12日、野村SNS関連株投資 マザーファンド)

## ○損益の状況 (2020年8月14日～2021年8月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,110
支払利息	△ 7,110
(B) 有価証券売買損益	533,544,731
売買益	719,939,967
売買損	△ 186,395,236
(C) 信託報酬等	△ 31,915,262
(D) 当期損益金(A+B+C)	501,622,359
(E) 前期繰越損益金	392,562,915
(F) 追加信託差損益金	177,136,986
(配当等相当額)	( 151,097,734)
(売買損益相当額)	( 26,039,252)
償還差益金(D+E+F)	1,071,322,260

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;Aコース&gt;

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年10月28日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年8月13日			資産総額	1,660,334,191円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	17,851,092円	
				純資産総額	1,642,483,099円	
受益権口数	9,341,103,432口	571,160,839口	△8,769,942,593口	受益権口数	571,160,839口	
元本額	9,341,103,432円	571,160,839円	△8,769,942,593円	1万口当たり償還金	28,756円93銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	19,547,313,729円	18,999,437,298円	9,720円	0円	0.0%	
第2期	2,978,019,616	3,791,477,189	12,732	500	5.0	
第3期	2,081,386,197	2,592,501,635	12,456	480	4.8	
第4期	1,672,623,474	1,869,191,012	11,175	240	2.4	
第5期	1,189,972,561	1,510,096,955	12,690	650	6.5	
第6期	928,887,415	1,338,905,396	14,414	700	7.0	
第7期	838,399,539	1,421,750,208	16,958	870	8.7	
第8期	760,010,035	1,129,062,101	14,856	790	7.9	
第9期	658,454,031	1,314,117,739	19,958	1,040	10.4	

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金(税込み)	28,756円93銭
----------------	------------

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## &lt;Bコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年8月14日～2021年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 692	% 1.947	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(391)	(1.100)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(274)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 27)	(0.077)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.033	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 12)	(0.033)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 4)	(0.012)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.026	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 8)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	717	2.018	
期中の平均基準価額は、35,538円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

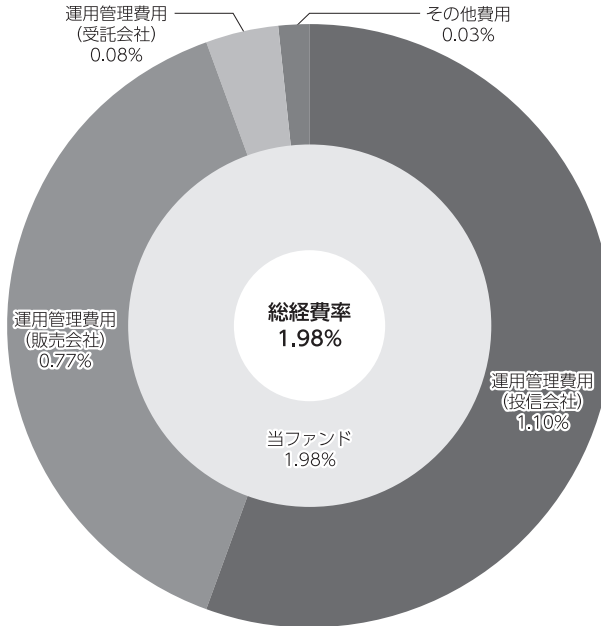
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Bコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2020年8月14日～2021年8月13日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村SNS関連株投資 マザーファンド	千口 14,368	千円 73,020	千口 286,935	千円 1,959,011

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2020年8月14日～2021年8月13日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村SNS関連株投資 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	4,507,696千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,034,132千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.48	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年8月14日～2021年8月13日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;野村SNS関連株投資 Bコース&gt;

該当事項はございません。

## &lt;野村SNS関連株投資 マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	60	53	88.3	3,909	5	0.1

平均保有割合 48.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## &lt;Bコース&gt;

## ○組入資産の明細

(2021年8月13日現在)

2021年8月13日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
野村SNS関連株投資 マザーファンド			千口 272,566

\*単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月13日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
コール・ローン等、その他		1,524,421	100.0
投資信託財産総額		1,524,421	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## &lt;Bコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年8月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,524,421,334
コール・ローン等	1,524,421,334
(B) 負債	21,185,135
未払解約金	5,867,610
未払信託報酬	15,289,286
未払利息	2,388
その他未払費用	25,851
(C) 純資産総額(A-B)	1,503,236,199
元本	371,797,877
償還差益金	1,131,438,322
(D) 受益権総口数	371,797,877口
1万口当たり償還価額(C/D)	40,431円54銭

(注) 期首元本額は473,170,134円、期中追加設定元本額は19,376,575円、期中一部解約元本額は120,748,832円、1口当たり純資産額は4.043154円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額18,783,767円。(\*20年8月14日～'21年8月12日、野村SNS関連株投資 マザーファンド)

## ○損益の状況 (2020年8月14日～2021年8月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 5,725
支払利息	△ 5,725
(B) 有価証券売買損益	529,767,560
売買益	622,214,968
売買損	△ 92,447,408
(C) 信託報酬等	△ 29,669,313
(D) 当期損益金(A+B+C)	500,092,522
(E) 前期繰越損益金	356,420,985
(F) 追加信託差損益金	274,924,815
(配当等相当額)	( 182,913,151)
(売買損益相当額)	( 92,011,664)
償還差益金(D+E+F)	1,131,438,322

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;Bコース&gt;

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年10月28日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年8月13日			資産総額	1,524,421,334円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	21,185,135円	
				純資産総額	1,503,236,199円	
受益権口数	4,172,927,180口	371,797,877口	△3,801,129,303口	受益権口数	371,797,877口	
元本額	4,172,927,180円	371,797,877円	△3,801,129,303円	1万口当たり償還金	40,431円54銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	11,071,722,942円	10,621,195,521円	9,593円	0円	0.0%	
第2期	1,874,339,632	2,847,627,648	15,193	700	7.0	
第3期	3,486,974,010	5,352,012,126	15,349	730	7.3	
第4期	1,531,017,578	2,500,168,788	16,330	750	7.5	
第5期	1,147,963,945	1,761,324,221	15,343	800	8.0	
第6期	765,334,604	1,454,332,325	19,003	1,000	10.0	
第7期	668,361,365	1,542,360,502	23,077	1,100	11.0	
第8期	607,374,818	1,195,204,463	19,678	1,060	10.6	
第9期	473,170,134	1,274,371,535	26,933	1,420	14.2	

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	40,431円54銭
----------------	------------

## ○お知らせ

該当事項はございません。



# 野村SNS関連株投資 マザーファンド

## 償還運用報告書

第10期（償還日2021年8月12日）

作成対象期間（2020年8月14日～2021年8月12日）

### 受益者のみなさまへ

野村SNS関連株投資 マザーファンドの設定日以降、償還までの運用状況をご報告申し上げます。  
ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）のSNS関連企業*の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 ※ファンドにおいて、「SNS関連企業」とは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を提供する企業およびSNSの拡大に寄与する、あるいはその恩恵を受けると考えられる企業のことを指します。 株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案してポートフォリオを構築します。
主な投資対象	世界各国のSNS関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
	円 銭		%	%	%	百万円
6期(2017年8月14日)	26,401		32.7	96.9	—	2,743
7期(2018年8月13日)	34,314		30.0	98.6	—	2,956
8期(2019年8月13日)	31,399	△	8.5	97.2	—	2,273
9期(2020年8月13日)	46,128		46.9	97.6	—	2,551
(償還時)	(償還価額)					
10期(2021年8月12日)	70,654.26		53.2	—	—	3,156

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるSNS関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

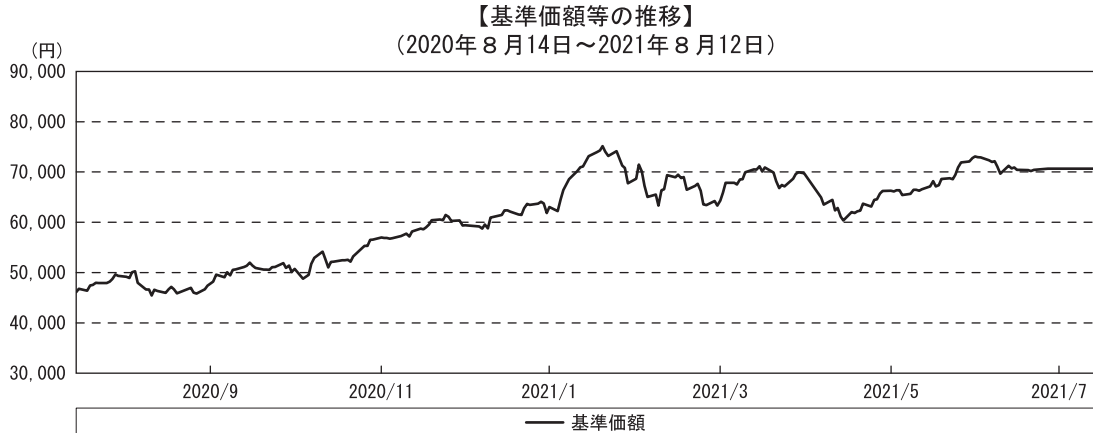
年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰	落率		
(期首)	円 銭		%	%	%
2020年8月13日	46,128		—	97.6	—
8月末	49,137		6.5	94.6	—
9月末	47,828		3.7	94.9	—
10月末	50,732		10.0	94.7	—
11月末	56,969		23.5	96.8	—
12月末	59,391		28.8	96.6	—
2021年1月末	63,014		36.6	96.6	—
2月末	67,764		46.9	98.4	—
3月末	64,332		39.5	96.4	—
4月末	69,769		51.3	97.4	—
5月末	66,253		43.6	97.6	—
6月末	73,078		58.4	99.2	—
7月末	70,659		53.2	—	—
(償還時)	(償還価額)				
2021年8月12日	70,654.26		53.2	—	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首46,128円から期末（償還時）70,654.26円になりました。主な変動要因は以下の通りです。

- ・ 企業業績の回復や新型コロナウイルスワクチンの開発、接種の進展により経済正常化への期待が高まったことや、バイデン米大統領による新型コロナウイルス追加経済対策法案が成立したことなどを背景に株式市場が上昇する中、保有株式が上昇したこと。
- ・ 経済の正常化への期待を背景に米国金利が上昇し、ドル高・円安となったこと。

※当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるSNS関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ＜株式組入比率＞

7月上旬までは概ね高位を維持しました。7月中旬以降は、償還対応で保有株式の売却を進め、キャッシュでの運用を行いました。

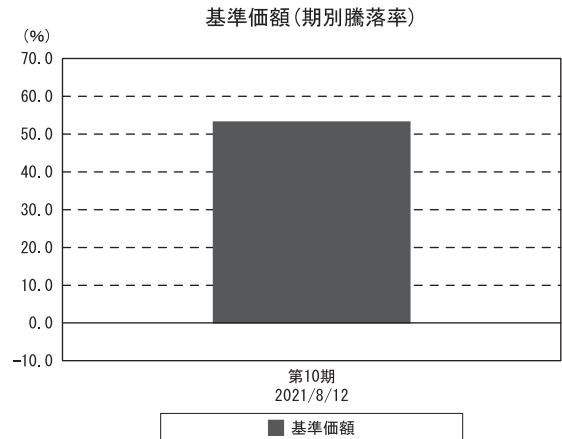
### ＜期中の主な動き＞

- ・世界各国（新興国を含みます。）のSNS関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、また株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。SNS関連企業とはソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を提供する企業およびSNSの拡大に寄与する、あるいはその恩恵を受けると考えられる企業を指します。
- ・7月上旬まではバリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄を入れ替えました。7月中旬以降は、償還対応で保有株式の売却を進め、キャッシュでの運用を行いました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるSNS関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎設定来の運用経過

〈設定来の基準価額の推移〉



## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から償還時70,654.26円となりました。

### 第1期（2011年10月28日～2012年8月13日）

- ・欧州債務危機懸念の再燃や中国経済がハードランディングするとの懸念などで相場が押し下げられる中、注目されていたフェイスブックのIPO（新規株式公開）が市場参加者の期待を大きく下回る結果となったことなどから下落。

### 第2期-第3期（2012年8月14日～2014年8月13日）

- ・当ファンドの最大保有であった銘柄が良好な企業決算を発表したこと、自民党安倍総裁の積極的な金融緩和を促す発言や、日本銀行の市場予想を上回る規模の緩和策などから、対主要通貨で全面的に円安がすすんだことなどから上昇。

### 第4期（2014年8月14日～2015年8月13日）

- ・ギリシャ情勢の先行き不透明感や失望感を誘う企業業績の発表などから下落する局面もありましたが、米国の利上げ観測が高まる中、米国と日欧との金融政策の方向性の違いが際立つこととなり、ドルが主要通貨に対して買われたことなどから上昇。

**第5期（2015年8月14日～2016年8月15日）**

- ・英国のEU（欧州連合）離脱問題に対する不透明感が高まる中、リスク回避姿勢が強まり、大幅にドル安・円高となったことなどから下落する局面もありましたが、主要国、地域の中央銀行による政策対応への期待などから上昇。

**第6期－第7期（2016年8月16日～2018年8月13日）**

- ・米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、トランプ大統領による石油パイプライン建設に関する大統領令への署名などを受け経済政策への期待が高まったことなどから上昇。

**第8期（2018年8月14日～2019年8月13日）**

- ・米中貿易摩擦への警戒感などを背景に世界経済の先行きを不安視する見方が広がったことなどから下落。

**第9期－第10期（2019年8月14日～2021年8月12日）**

- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けた原油価格の急落などから大幅に下落した局面もありましたが、各国が財政・金融政策を打ち出したこと、米大手製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの臨床試験で高い有効性を発表し、その後接種が進展するなど、経済正常化への期待が高まったことなどから上昇。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年8月14日～2021年8月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	円 21 (21) ( 0 )	% 0.034 (0.033) (0.000)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	7 ( 7 ) ( 0 )	0.012 (0.012) (0.000)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	17 (17) ( 0 )	0.028 (0.028) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	45	0.074	
期中の平均基準価額は、61,577円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年8月14日～2021年8月12日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 628 (101)	千米ドル 3,510 ( - )	百株 3,843	千米ドル 35,040
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	27	711
国	香港	—	千香港ドル —	220	千香港ドル 11,900
	韓国	—	千ウォン —	89	千ウォン 732,400

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ CROWN CASTLE INTL CORP	口 —	千米ドル —	口 2,560	千米ドル 405

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○株式売買比率

(2020年8月14日～2021年8月12日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,507,696千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,034,132千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.48

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。



## ○利害関係人との取引状況等

(2020年8月14日～2021年8月12日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
			B A			D C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	60	53	88.3	3,909	5	0.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2021年8月12日現在)

2021年8月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 外国株式

銘 柄	期首(前期末)	
	株	数
(アメリカ)		百株
ANGI INC	291	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	38	
ALPHABET INC-CL A	5	
AMAZON.COM INC	3	
BAIDU INC - SPON ADR	13	
BOOKING HOLDINGS INC	2	
CRITEO SA-SPON ADR	286	
DISNEY (WALT) CO	40	
ETSY INC	60	
FACEBOOK INC-A	48	
HUBSPOT INC	20	
IAC/INTERACTIVE CORP	38	
JD.COM INC-ADR	88	
LENDINGTREE INC	6	
LIVEPERSON INC	53	
MATCH GROUP INC	82	
OVERSTOCK.COM INC	184	
OVERSTOCK.COM INC 1.0204 PFD	19	
PAYPAL HOLDINGS INC	47	
REDFIN CORP	156	
ROKU INC	43	
SALESFORCE.COM INC	42	
SLACK TECHNOLOGIES INC-CL A	94	
SNAP INC-A	640	
SQUARE INC - A	67	
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	13	
TWITTER INC	61	
UBER TECHNOLOGIES INC	234	
VIPSHOP HOLDINGS LTD - ADS	103	

銘 柄	期首(前期末)	
	株	数
(アメリカ)		百株
ZILLOW GROUP INC - A	48	
ZILLOW GROUP INC - C	57	
MAIL.RU GROUP-GDR REGS	190	
SINA CORP	28	
小 計	株	数
	銘	柄
		数
		3,114
(ユーロ…ドイツ)		
NEW WORK SE	27	
ユ ー ロ 計	株	数
	銘	柄
		数
		27
(香港)		
TENCENT HOLDINGS LTD	220	
小 計	株	数
	銘	柄
		数
		220
(韓国)		
SAMSUNG ELECTRONICS	89	
小 計	株	数
	銘	柄
		数
		1
合 計	株	数
	銘	柄
		数
		3,451
		36

\*単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しており  
ます。

## 外国投資信託証券

銘柄	柄	期首(前期末)	
		口	数
(アメリカ) CROWN CASTLE INTL CORP			口 2,560
合 計		口 銘柄	数 2,560
			1

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月12日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	3,156,045	100.0
投資信託財産総額	3,156,045	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年8月12日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	3,156,045,469
コール・ローン等	3,156,045,469
(B) 負債	2,141
未払利息	2,141
(C) 純資産総額(A-B)	3,156,043,328
元本	446,688,301
償還差益金	2,709,355,027
(D) 受益権総口数	446,688,301口
1万口当たり償還価額(C/D)	70,654円26銭

(注) 期首元本額は553,129,573円、期中追加設定元本額は35,152,351円、期中一部解約元本額は141,593,623円、1口当たり純資産額は7,065,426円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・野村SNS関連株投資 Aコース 233,018,628円  
 ・野村SNS関連株投資 Bコース 213,669,673円

## ○損益の状況

(2020年8月14日～2021年8月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,402,197
受取配当金	3,405,155
受取利息	4,391
その他収益金	72,750
支払利息	△ 80,099
(B) 有価証券売買損益	1,304,364,321
売買益	1,366,682,426
売買損	△ 62,318,105
(C) 保管費用等	△ 884,557
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,306,881,961
(E) 前期繰越損益金	1,998,369,867
(F) 追加信託差損益金	146,877,649
(G) 解約差損益金	△ 742,774,450
償還差益金(D+E+F+G)	2,709,355,027

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。